

『さいせき・函館』… 20161020号

『秋深き隣りは何をする人ぞ』の俳句は、1694年元禄7年松尾芭蕉が弟子の俳句の会に出席する予定でいたのですが、病気になり床に伏せて静かにしていると自然と隣の人の生活の音が耳に入り、普段忙しい時は、気にも留めなかった隣人の方は何をしている人だろうなどと色々想像してしまう。この様な意味だったと記憶しています。残念なことに、この年の9月には芭蕉は逝去しています。普段、当会の出来事や行事について様々な形で報告しています。しかし、似たような会が基本的な事をしようとしても名前は聞いても想像だにしない日々もあります。11月には、函館市で骨材資源工学会が開催されます。日本全国を開催地として骨材資源の開発、骨材の製造、建設用原材料への有効利用方法、公害防止、環境保全また安全対策の研究を柱に活動しています。いずれも我々の根幹を成す研究を地域の大学の先生方と連携してその成果と情報交換をしています。偶には、こんな話を聞いて業界のグローバルな方向性を秋の夜長に時間を使って見てはどうでしょうか。函館支部は、参加会員の助成を致します。



◇北海道砕石協同組合連合会・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部の動向

①採石業務管理者試験…10月14日に実施されました。この試験は東京の某大学と京都の某大学の先生方が毎年交互に出題を出しています。ですから、隔年ごとに問題の内容が変化しています。そして、最終的に骨材資源工学会の大塚会長(岩手大学教授)が最終チェックをされているとか。皆様の合格をご祈念致します。ご苦労様でした。

②北海道砕石経営セミナー…10月04日、13時30分から17時30分、札幌市かでの2・7「520研修室」開催
北海道砕石業の健全経営に向けた取組充実を図るため、3つのテーマについて有識者から講演を頂く。講演終了後、損害保険会社による砕石事業損害保険説明会(20分程度)を開催しました。実に内容の有るセミナーでした。当日の研修資料については事務局にもありますので興味のある方はご連絡ください。

◇道南地区砕石協同組合・(一社) 日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

①主な実施活動…9月20日以降の報告

09月26日…後藤事業所出来高検査、現地確認を林務・商工と実施…(高木理事のご尽力のお陰です。完了予定です。)

09月28日…檜山振興局林務・商工に対して9月28日施工状況報告書提出。

今後の予定ですが、協会としては一定のバックアップを致しました。後は、本人がどの様に振興局と連絡を取り完了に向けて対応するのかの問題です。もちろん書類的なものは、本人の作成は無理なので協力しますが、それ以外は振興局と進めて頂くことで振興局と調整しています。

10月04日…北海道砕石経営セミナー開催(4名参加) 興味を引いたのは、保険内容でした。又保険料も詳しく聞かないとハッキリ言えませんが、比較的安価に設定されている印象でした。函館支部としては詳細について調べたいと思っています。対象は、プラント施設・重機と広範囲になっています。

10月14日…骨材資源工学会・大塚会長他、11月開催に向けて挨拶のため来函。当会事務局にて打ち合わせ協議

10月17日…渡島総合振興局商工労働課による砕石安全指導パトロール

…(有)明和砕石・(有)松田砕石・(株)七飯砕石工業・桔梗石材工業所(参加者、理事7人、他6人)

10月18日…渡島総合振興局商工労働課による砕石安全指導パトロール

…(株)鉄山協和組・(有)臼尻物産・下海岸砂利工業(株)(参加人数、理事7人、他7人)

②今後の予定…理事会が緊急に開催される事もありますのでよろしく。

11月17日…骨材資源工学会 平成28年度秋季定例研究会(函館)…湯の川温泉・花びしホテル 14時から
詳細については、既に配布している開催通知を御参照下さい。なお、骨材資源工学会大塚会長より函館支部へ直接参加のお願いがありましたので別紙にてお知らせします。函館支部からの参加申込者は今日現在14名です。

以上、不明な点等がありましたら事務局までご連絡ください。